

ニュークリア セイフティーネットワーク (NSネット)の設立について

1999 年 12 月
電気事業連合会

株式会社ジェー・シー・オー(JCO)ウラン再転換施設で発生した臨界事故は、作業員の方の尊い命が失われたうえに多数の従業員や一般の方々が被ばくされたこと、そして事故の背景にモラルや安全文化の欠如があったことに、私ども電気事業者は、たいへん大きなショックを受けました。本当に不幸かつ残念な事故であり、今後、絶対にこのような事故を起こしてはならないと思います。

原子力産業は、部品製造から燃料加工、あるいは廃棄物の管理・処分に至るまで、数多くの企業から成り立っています。そのどこか1カ所の安全が損なわれても、原子力産業界全体が社会からの信頼を失い、原子力の平和利用を進めることが困難になってしまいます。

今回の事故原因が明らかになるにつれて私どもが強く感じたことは、原子力産業界全体としての安全文化の共有化・向上が、もっともっと必要だということです。

広く原子力産業界の皆さまのご賛同をいただき、この度、NSネットが発足いたしました。この組織は、今回のような事故を二度と起こさないために、原子力産業界を構成する企業や研究機関が、同じ目線に立って、互いに評価し合ったり情報交換したりするための場です。

私ども電気事業者が原子力発電所の建設、保守・運転などの経験のなかから培ってきた安全文化や安全性向上のためのノウハウを全体で役立てていただき、また、私どもも他の業界や企業から多くを学ばせていただきたいと考えております。

原子力の平和利用に対する社会の皆さまの信頼を取り戻すために、NSネットの活動が、原子力産業界全体の安全性のレベルアップに貢献することを切に願っています。

ニュークリア セイフティー ネットワーク[略称:NSネット] (平成11年12月9日 設立)

1. NSネット事務局所在地

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル内

2. 組織

原子力産業界に携わる企業および研究期間等の自主参加による民間主体の任意団体

3. 設立時の会員

原子燃料サイクルを構成する 35 の企業および研究期間等の参加で設立

4. 事業の概要

(1)原子力安全文化の普及

- ・ 原子力安全をテーマとしたセミナー等を開催し、会員間の安全文化の共有化および向上を図る。なお、開催に当たっては、外部関係機関との連携を図り効率的に進める。
- ・ 会員組織の経営層、管理者、現場作業員等の各層を対象とした原子力安全およびモラル向上に係る教育・研修等を支援し、原子力安全に関する知識の普及および啓発を図る。
- ・ インターネットホームページの開設およびパンフレット・定期刊行物の発行等により、会員および一般向けに原子力安全に関する情報を発信する。

(2)会員間の相互評価(ピアレビュー)

- ・ WANO のピアレビュー手法等を参考に、原子力安全に関する会員間の共通課題についてピアレビューを実施する。
- ・ ピアレビューは、会員の専門家により構成したチームにより、会員の事業所を相互訪問し、課題の摘出や良好事例の水平展開等を実施する。
- ・ 当面、核燃料物質や放射性廃棄物を取扱う施設を有する会員の事業所のピアレビューを先行して実施し、2年程度を目途に一巡することを目標とする。

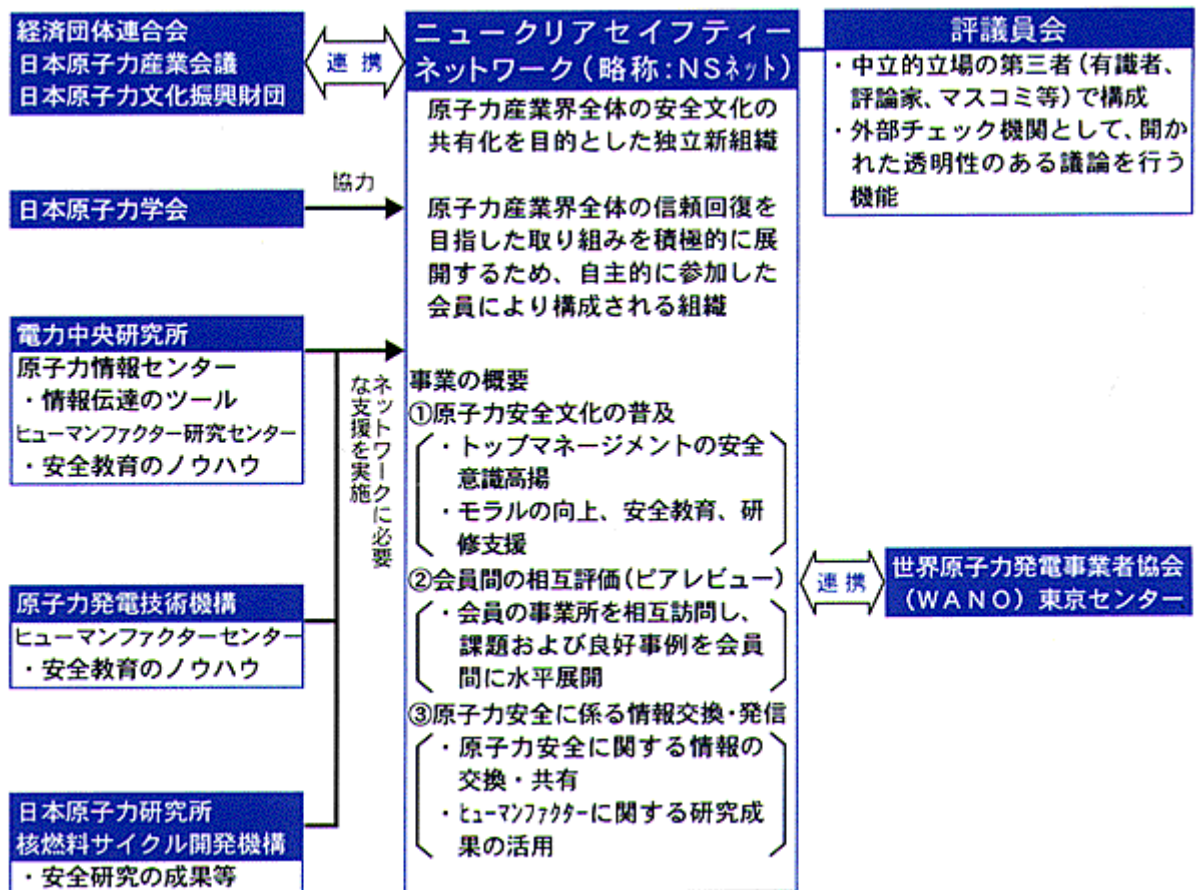
(3)原子力安全に係る情報交換・発信

- ・ (財)電力中央研究所原子力情報センターのシステムを会員間に拡張し、各事業所で生じた原子力安全に関するトラブル情報等を会員間で交換・共有する。
- ・ (財)電力中央研究所ヒューマンファクター研究センター等が開発した各種ツールによりヒューマンファクターに係る情報分析を行うとともに、教育教材の活用により、会員事業所における安全教育・研修等を支援する。

5. 評議員会の設置

外部チェック機関として、中立的な立場の第三者で構成される評議員会を設け、NSネットの業務活動について評価、チェックを行う。

有識者、評論家、マスコミ等から5～6名程度で構成する予定。



設立時の会員(35 団体)

(電力関係)	(燃料加工関係)	(プラントメーカー関係)	(研究機関)
北海道電力 東北電力 東京電力 中部電力 北陸電力 関西電力 中国電力 四国電力 九州電力 日本原子力発電 電源開発 日本原燃 原燃輸送 レーザー濃縮技術研究組合	原子燃料工業 三菱原子燃料 日本ニュークリア・フュエル 三菱マテリアル 住友金属鉱山 ジェー・シー・オー	東芝 日立製作所 三菱重工業 三菱電機 石川島播磨重工業 富士電機 住友原子力工業 日本核燃料開発 ニュークリア・デベロップメント 神戸製鋼所 日立造船 三井造船	核燃料サイクル開発機構 電力中央研究所 日本原子力研究所

◎安全文化とは？

利益追求の企業においても、安全性追求を優先して事業に向かうという風土・慣習を「安全文化」と読んでいます。

NSネットでは、会員間のセミナー開催、教育支援、相互評価、情報交換などの活動を通じて、原子力産業に携わる各会員間の安全文化の共有化および向上を図っていきます。

◎ピアレビューとは？

会員間の相互評価をピアレビューといいます。NSネットの当面の活動としては、会員各事業所が共通の課題認識を持つことができる、原子力安全に関する組織・運営、教育・訓練などを中心として相互評価していくことを考えています。

「ニュークリア セイフティー ネットワーク」の 設立にあたって

本日、わが国の原子力界の35の企業及び研究機関が集まり、ニュークリアセイフティーネット(NSネット)を設立し、私がその理事長に就任いたしました。

先に生じた東海の燃料加工施設における臨界事故では、従業員をはじめ一般の方々が被ばくされ、多数の方々が退避・避難されるという稀に見る災害となったこと及びその事故の背景に事業者の安全文化の欠如があったことは、きわめて遺憾なことがありました。

かつてチェルノブイリ事故が生じた際に、世界の原子力発電事業者がWANOを設立して、会員相互の事業者を訪問し、安全文化向上のための活動を展開してきました。NSネットは、このWANOの精神及び手法を参考にして、わが国の原子力産業に従事する主要な事業者をはじめ関係する研究機関などが、会員の事業所を相互に訪問し、対等のイコールパートナーとして、原子力安全に関する取り組みを相互に評価し合うピアレビューを中心に、会員間で情報交換や安全教育・研修の支援活動を行うことにより、お互いの持っている知見を経営トップまで含め共有し、安全文化の向上に努めていくことを目的とした組織であります。

本日の設立総会に集まったすべての会員は、自らの襟を正し、国民の皆様の原子力に対する信頼回復に向け、経営トップから現場に至るまでこれらの活動に積極的に取り組み、安全意識・安全文化の向上に努めていく決意を新たにいたしました。まだ発足したばかりのNSネットではありますが、私をはじめNSネットがこれらの活動の中心的役割を果たせるように早急に体制を整備し、参加会員と共に、安全確保の活動に全力で取り組んでいく所存であります。

皆様方のご協力、ご支援をお願いする次第であります。

平成11年12月9日
ニュークリア セイフティー ネットワーク
理事長 牧野 昇

[電気事業連合会]

〒100-8118 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館ビル

TEL. 03 - 3279 - 2182

FAX. 03 - 3279 - 3752